



電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)  
 ニュースレター (2017 年度 No.1)  
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆FIT2017 (第 15 回情報科学フォーラム) 開催のご案内
- ◆HCG シンポジウム 2017 への投稿のご案内
- ◆研究会活動紹介 (HCS 研究会)
- ◆研究会活動紹介 (HIP 研究会)



FIT2017 (第 16 回情報科学技術フォーラム) 開催のご案内

HCG 企画幹事  
 吉田悠 (NEC)

電子情報通信学会 (ヒューマンコミュニケーショングループ, 情報・システムソサイエティ (ISS)) および情報処理学会 (IPSJ) が共催する, FIT2017 (第 16 回情報科学技術フォーラム) の開催をお知らせいたします. 今年度は, 東京大学において開催されます.

- ・会場: 東京大学 本郷キャンパス
- ・会期: 2017 年 9 月 12 日(火)～14 日(木)

最新情報につきましては下記をご覧ください.

<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/>

情報処理学会 (IPSJ) と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 及びヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) との合同で開催致します本フォーラムは, IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会との流れを汲むものですが, 従来の大会の形式にとらわれずに新しい発表形式を導入し, タイムリーな情報発信, 活気ある議論・討論, 多彩な企画, 他分野研究者との交流などを実現することで, 2002 年から毎年継続して開催しております.

情報技術分野における顕著な業績に対して贈られる FIT2017 船井業績賞は, 池内克史氏 (マイクロソフトリサーチアジア首席研究員) の受賞が決定しており, 受賞記念講演が 9 月 13 日(水)に予定されています. なお, 一般講演の応募論文からは, 船井ベストペーパー賞と FIT 論文賞が選定されます. また, 以下のような情報科学技術に関する様々なテーマの学会・研究会企画によるイベントが開催されますので, 是非ご参加下さい.

**【9 月 12 日(火)】**

- ・デジタルゲリマンダーの脅威～ネットと AI から民主主義は守れるか～
- ・働き方改革のプラクティス: Joy, WorkPlace with すいすい読書会
- ・オープンデータ活用の最前線ーデジタルプラクティスライブー
- ・東大・情報理工研究 100 連発
- ・データ研磨によるビッグデータからの高精度クラスタ発見とその応用
- ・外部コメンテーターによる公開編集委員会～会誌のイケてる、イケてない所をメッタ切り!～

【9月13日(水)】

- ・ FIT2017 船井業績賞受賞記念講演  
「Computer Vision 分野における世界的研究業績と人材育成」池内克史
- ・ 人工知能は人間の幸福度を測ることができるか？～主観的 QoL 計測における  
コンピュータビジョン・パターン認識技術の可能性を探る～
- ・ 食の情報処理～これまでの10年、これからの10年～
- ・ 未来を牽引する ICT 博士人材育成

【9月14日(木)】

- ・ 激論！ 改正個人情報保護法 個人データ利活用のポイントはここだ！
- ・ インターネットは心理学研究に FIT するか？
- ・ 「ロボットは東大に入れるか」大学入試自動解答の成果、技術的課題と今後
- ・ 不動産テック～不動産×AIが拓く不動産の未来～
- ・ 機械学習と量子物理学の交差点

---

HCG シンポジウム 2017 への投稿のご案内

企画幹事  
吉田寛 (NTT)

---

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) が主催する HCG シンポジウム 2017 への投稿のご案内です。

- ・ 会場：金沢歌劇座 (石川県金沢市)
  - ・ 会期：2017 年 12 月 13 日(水)-15 日(金)
  - ・ 発表申込締切：2017 年 9 月 7 日(木) 24:00 JST
  - ・ 発表原稿締切：2017 年 10 月 13 日(金) 24:00 JST
- 発表申込や最新情報につきましては、下記をご覧ください。

<http://2017.hcg-symposium.org/>

HCG シンポジウムは、HCG に属する各研究会はもとより、その他の研究分野との

横断的かつ濃密な交流を促進しています。全ての口頭発表者に対してインタラクティブ発表枠が設けられ、幅広い分野の参加研究者とのディスカッションを行うことができます。この機会を是非ご利用ください。

- ・ 口頭発表者によるインタラクティブ発表は義務ではありませんが、コアタイムにはできるだけご参加ください。
- ・ インタラクティブ発表ではポスタ (印刷したスライドも可) を掲示して頂きます。ノート PC を用いたデモも可能です。
- ・ インタラクティブ発表のみの参加者も募集します。萌芽的な研究やプロジェクト紹介などにご活用ください。

特に学生の皆様にとっては、修論・卒論等の執筆開始時期に合わせて、外部研究者からの多様な意見が得られ、より多面的な観点でバランスのとれた論文執筆に役立てられます。ぜひ積極的にご参加ください。

また、特定のトピックに関する研究発表を集めた「特集テーマ」を企画しています。詳細は Web ページをご覧ください。

本シンポジウムで優れた研究発表を下記の通り表彰する予定です。

- ・ 最優秀インタラクティブ発表賞
- ・ 優秀インタラクティブ発表賞 (一般のみ)

- ・学生優秀インタラクティブ発表賞（学生のみ）
- ・オーガナイズドセッション賞

高知市で行われた昨年は、研究発表 108 件（招待講演 1 件、口頭 91 件、インタラクティブのみ 16 件）参加者 200 名となりました。

今年も皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

シンポジウムに続き、電子情報通信学会論文誌においてヒューマンコミュニケーション特集号が予定されております。ぜひご投稿ください。

本シンポジウムでの優秀な論文は本特集号へ推薦いたします。

情報保障のご案内：視覚や聴覚等に障がいのある方に対し情報保障を行います。詳細は Web ページをご覧ください。

---

## 研究会活動紹介（HCS 研究会）

HCS 研究専門委員長  
中野有紀子（成蹊大学）

ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会は、人対人、人対コンピュータのコミュニケーションに関する幅広い研究分野を扱っています。対面や遠隔地のコミュニケーション、コミュニケーションにおける感情や社会的特性、web や SNS によるコミュニケーション、コンピュータを介したコミュニケーションの支援・操作、エージェントやロボット、子ども・高齢者・非母語話者を対象とした研究、コミュニケーションの空間や身体性等々、最近発表された研究だけを見ても実に様々です。コミュニケーションの分析やモデル化の研究もあれば、ユーザインタフェースを提案・開発する研究もあります。

このような HCS の幅の広さは、参加者の広がりによるものだと思います。HCS に

は心理学を専門とする方が多く参加されます。異なるディシプリンの研究発表を聞くことは、新しい知識や知見を得る機会になります。心理学の方の発表を聞き、こんな理論があったのか、こんな実験の仕方があるのかと勉強になります。一方、心理学の方からは、新しい技術や斬新なユーザインタフェースに興味を持ったとの意見を伺うことがあります。HCS は、異なるディシプリンを尊重し合っているコミュニティだと思います。

また、コミュニケーションという同じ研究対象に興味を持つ、異分野の研究者との繋がりを作ることも重要です。コミュニケーションは様々な分野において研究されている対象であるからこそ、このような機会は重要だと考えています。HCS では、広がりのある研究会を目指し、そのための工夫の 1 つとして、心理学の方々にも多数参加いただけるよう、心理学と工学のバランスを考慮した幹事団を構成し、両分野の意見を取り入れながら研究会を運営しています。

また、積極的に異分野の研究会と交流することも進めています。数年前から 1 月には、日本心理学会・幼児言語発達研究会共催、日本社会心理学会協賛での研究会を開催し、心理学研究者との交流をはかりました。また 8 月研究会では VNV 研

究会と共催し、言語学や認知科学的アプローチによる研究について議論する機会としています。今後も HCS では、コミュニケーションに興味を持つ研究者の輪を広げゆく活動を展開し、様々な分野の研究者の交流の場を提供していきたいと考えています。

---

研究会活動紹介 (HIP 研究会)

HIP 研究専門委員長  
石井雅博 (札幌市立大学)

-----

ヒューマン情報処理研究会 (HIP)は HCG の誕生とともに発足した 3 研究会の一つで、2017 年度で第 23 期となりました。HIP の目的は、人間にとって受け入れやすく、扱いやすい人工物を作り出すための研究を推進することです。研究会では、人間の感覚や知覚はもとより、認知、情緒、感性、価値などの高次の脳機能に関する多くの研究が議論されています。近年では、高齢者や障がい者といった少数ではあっても多様なユーザに配慮したヒューマンファクタの研究も盛んです。人間の感性に関わる情報については、絵画や音楽に対する印象が人によって違うこと、誰もが分かるような言葉で表現するのが難しいことから分かるように、主観性、曖昧性、多義性を有しています。このような感性的情報を客観的・科学的に把握し処理しようとする研究も取り組まれてきました。情報通信分野だけでなく、生理学、心理学、神経科学、認知科学の分野、近年では医療分野の実践的な試みに関するものなど多彩な分野の研究者が毎回、熱心に研究発表と討論を展開しています。最近の具体的なテーマ例としては、感覚・知覚情報処理として視覚・聴覚・触覚・体性感覚・嗅覚・味覚などの感覚についての情報処理やこれらの組み合わせとして異なる感覚モダリティの相互作用に関する研究、感性と認知としてリアリティ、心地よさといった何の感覚刺激か曖昧だが捉えている情報の取得に関するメカニズムに関する研究、またこれらを評価・観測する手段として脳機能解析、生体信号処理、身体運動解析などの研究、さらにはこれらの基礎研究を活用したヒューマンインタフェースのデザインなど人を中心とした非常に幅広い議論が交されています。我々は、これまでの個別の分野での研究成果を踏まえて、来るべきコミュニケーション社会を見通した工学的技術課題を人間情報科学の立場から追求することにより、新たな分野横断的研究領域の確立を推進していきます。関連する他の研究会と密接な交流のもとにこの分野の発展に寄与したいと考えています。

=====

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事について、詳しくは HCG ホームページ <http://www.hcg-ieice.org/>をご覧ください。

-----

□■□  
 電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ  
 Copyright (c) 2017 IEICE, All Rights Reserved.  
 □■□  
 -----

☆e-mail による情報配信を必要としない方は、その旨 [henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) まで会員番号、氏名をご連絡ください。処理に 1 ヶ月程度かかりますので、入れ違いに、再度情報配信された場合は、ご容赦ください。  
 (ご連絡いただいた場合は本会、登録ソサイエティ、グループ、支部、からの全ての情報配信が止まりますので、情報配信を再度希望される時も、その旨、[henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) までご連絡下さい。)  
 ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice  
 (社) 電子情報通信学会 サービス事業部  
 TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659